前期の教育活動の振り返り

第２回学校運営協議会において、前期の教育活動の職員振り返りについて承認をいただきました。以下に、その要旨を掲載します。

１ 学力づくり（基礎基本の確実な習得、思考力・判断力・表現力等の育成）

＜分かる・できる授業＞

○iPad 端末を使った学習は生徒の学習意欲の向上に役立っています。今まで書くことを苦手とし、作文等書けなかった生徒が端末を用いることで、やる気を高めることができました。今後は、アンケートシステムを活用した宿題に繰り返し取り組ませることにより、端末で知識の定着を狙う使い方も行っていきます。

＜思考力・判断力・表現力等の育成＞

○３観点（観点①「知識・技能」、観点②「思考・判断・表現」、観点③「主体的に学習に取り組む姿」）の力を総合的に見取るパフォーマンス課題の枠組ができました。１学期の反省を踏まえながら、２学期以降は取組をより加速させていきます。

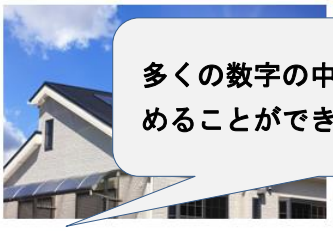
※パフォーマンス課題とは、現実的な状況のなかで、生徒が様々な知識や技能を総合して取り組むことが求められる学習課題を指します。

以下は、数学科１年生「正負の数」でのパフォーマンス課題です。

例

孝宏（たかひろ）さんの家では、屋根に太陽電池を設置して、太陽光による自家発電をすることにしました。孝宏さんは「発電した電力と消費した電力のどちらが大きいかを調べたい」と考えました。

ある１日の２時間ごとの時間帯と太陽電池によって発電した電力、消費した電力、余剰電力（発電した電力 － 消費した電力 ＝ 余剰電力）を調べたところ、それぞれ次の表のようになりました。



多くの数字の中から適切な値を求めることができるかを見ます。

時間帯（時）	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
発電した電力（kWh）	0	0	0.02	1.12	2.53		2.98	2.05	1.41			
消費した電力（kWh）	0.9		0.8	2.4	1.6	0.8	0.6	1.2		3.46	2	
余剰電力（kWh）	-0.9	-0.6		-1.28	0.93	2.3	2.38	0.85	-1	-2.63	-1	

＊ 1kWh(キロワットアワー) は、１kWhを1時間で発電または消費した電力量のことをいう。

数値から物事を読み取る力を見ます。

次の問いに答えなさい。

(1) 上の表を完成させなさい。

(2)上の表では、発電した電力量が０kWh になる時間帯があります。その理由を書きなさい。

(3)この日１日で考えると、「発電した電力と消費した電力ではどちらが大きい」といえますか、考え方を書き、説明しなさい。

資料を活用して物事を考える力を見ます。

＜仲間づくりとの関わりの中で＞

○ペア読みや意見交換（チャットタイム）など様々な方法で意図的に関わりをもたせて、考えを広げさせたり、課題に対する意欲を向上させたりする手立てを各教科の中で日常的に取り入れています。人と関わるよさを実感させること、自己有用感が感じられるような場面を積極的につくっていきます。

２ 仲間づくり（道徳的成熟・自己効力感・責任感の醸成）

＜道徳教育の充実＞

○共生（＝他者を尊重し、多様な人たちと協働しながら社会の変化を乗り越え、幸せな人生をつくる力）をテーマとして、全教育活動を通じて生徒の道徳性を育む取組を進めています。

○道徳科の授業後の生徒記述から、授業の主題を自分自身のつながりの中で考えている様子が伺えます。今後も生徒が世の中の様々な事柄を多面的・多角的に見たり、よりよい生き方を考えたりする授業づくりに取り組んでいきます。

例

２年生道徳科の授業実践より

思いやり、感謝　主題名「思いやりを形に」　資料『譲る気持ちはあるのに…』

【あらすじ】「電車に妊婦さんが乗ってくる場面」に関する対照的な２つの話が示されている。１つ目は、譲る気持ちはあるが、声をかけられなかった中学生の話。２つ目は、席を譲ろうとした高齢のご夫婦の行為をきっかけに、会社員の「私」と若者が席を譲り、みんなが笑顔になる話。

＜授業後の生徒記述＞

自分の心を行動に移すこと。・・・（略）・・・思いやり、親切さはどんどん行動に移していかなければ。ロールプレイをして僕は高齢者役をしたときに譲ってもらえなかった。そのときは譲ってほしかった。**相手の感情を読み取るのは難しい。だから、自分の感情をまわりが読み取るのも難しいということ**だ。誰かが、行動に移さないと思っている想いも伝わりはしない。（５組生徒）

＜人権教育、同和教育の充実＞

○人権教育、同和教育の中核として部落問題学習の充実を図っています。事前に授業内容に関する検討のため、外部指導者を招き、助言をいただきました。また、昨今のＳＮＳを介した人権侵害を取り上げ、被害者にも加害者にもならないための指導を行いました。継続的に行っていくことで、差別を受け入れず差別を跳ね返せる人に育てていきます。

＜学級経営＞

○各学級担任の日々の学級経営と、教科担任の学習集団指導の中で、生徒同士が互いを大切にする雰囲気が感じられるクラスが多いです。城西アピールアンケートでの肯定的評価 100％を目指していきます。

○全員が係活動などの役割をもち、責任感をもって取り組んでいます。

３ からだづくり（体力の向上・社会生活に必要な知識及び技能の習得）

＜活動を支える体力の向上＞

○体づくり運動で、自分の体と向き合いながら運動したり仲間と共に課題にチャレンジしたりする内容を取り入れたことで授業に意欲的に取り組む生徒が多くなっています。顧問がトレーニング内容を部員のiPad端末に発信し、生徒が家庭においても自主トレーニングに取り組む姿が見られるようになりました。

＜食育の推進＞

○食が細く、食に対して不安や抵抗感を訴える生徒が多いようです。朝食を摂ってはいるが、栄養バランスへの意識には課題も残り、「栄養バランスのよい朝食を摂る」ことへの意識を高める必要があります。給食だよりを活用した昼の放送等でも食に関する情報を発信し、食事マナーや食生活の向上に取り組んでいきます。

＜自立した社会生活を送るための知識・技能の習得＞

○保健体育の授業で地域子どもを育てる会の生活習慣改善啓発リーフレットを活用し、家庭での「我が家のルール」を設定したことで、ルールを意識した生活を送ることができる生徒が増えてきています。メディア利用やよりよい情報選択については、関連する各教科（保健体育科、技術・家庭科、美術科、社会科等）、道徳、特別活動等において情報共有を密にして補完し合いながら、指導を重ねていきます。